平成 11 年 11 月 30 日
気　象　庁　予　報　部

配信資料に関する技術情報（気象編）第５９号

～配信資料の変更等について～

１．平成１２年３月の福岡 L-ADESS 更新に係る配信資料の変更

（配信資料に関する技術情報（気象編）第 10 号および 27 号関連）

気象庁では、気象資料伝送網（L-ADESS）の更新を順次進めており、昨年度の札幌 L-ADESS の更新に引き続き、今年度は福岡 L-ADESS の更新を行います。更新に際し、それぞれ地方版一般気象データ回線で提供するアメダスデータおよび数値予報ＧＰＶについて以下の変更を行っており、今年度も同様の変更を福岡 L-ADESS で行います。

なお、全国版および福岡以外の L-ADESS からの資料の配信に関しては変更ありません。

（１）アメダスデータ

『ＳＹＹＡ４６（九州北部地方用 A/N 報）』及び『ＳＹＹＡ５１（九州南部地方用 A/N 報）』を廃止し、『ＩＳＹＡ４６及びＩＳＹＰ４６（九州北部地方用 BUFR 報）』並びに『ＩＳＹＡ５１及びＩＳＹＰ５１（九州南部地方用 BUFR 報）』を新規に配信します。BUFR 報の内容の詳細については、「配信資料に関する技術情報（気象編）第 27 号（平成 9.9.22)」を参照願います。

BUFR 報の配信は、平成 12 年 3 月 1 日 00UTC 観測値から開始します。

A/N 報の廃止は、BUFR 報の利用の準備等を考慮し平成 12 年 4 月下旬頃とします。これまでに新データへの移行をお願いします。

（２）数値予報ＧＰＶ

次のとおり、要素の追加を行うとともに、配信するデータ種類コードの変更を行います。

変更は、平成１２年３月１日 00UTC 初期値の資料から行います。

なお、本資料に関しては、データ量の関係上、旧資料との並行配信は行いません。

①ＲＳＭ上層

データ種類コードを『ＫＵＲ＠ｉｉ』から『ＶＵＲ＠ｉｉ』に変更し、以下の要素の変更を行います。

・950hPa 層を追加する（要素は他の層と同様）。
・Ps（海面更正気圧）を RSM 地上に移す。
・ω（上昇流）を全ての層に追加する。
・T-Td（露点差）に代えて Rh（相対湿度）とする。

その他は、全て現行と同じとする。

②ＲＳＭ地上

データ種類コードを『ＫＶＲ＠ｉｉ』から『ＶＶＲ＠ｉｉ』に変更し、以下の要素の変更を行います。

・Ps（海面更正気圧）を RSM 上層から移す。

・T-Td（露点差）に代えて Rh（相対湿度）とする。

その他は、全て現行と同じとする。

２．降雪量分布予報について

（１）実施期間について

（配信資料に関する技術情報（気象編）第 25 号関連）

降雪量分布予報の実施期間は、12 月 1 日から翌年 3 月 20 日までとしておりますが、状況に応じて期間を延長することとしています。

北海道地方に関しては当面翌 3 月 31 日まで延長することとしますが，その他の地域の及び北海道地方の更なる延長については，その時々の気象条件により降雪量予報の必要性が異なるため、天候の見通しが可能な翌年 3 月中旬にお知らせすることとします。

なお，降雪量分布予報の実施期間については，今後，特段の変更がない限り事前のお知らせは行なわないこととします。

（降雪量分布予報の実施期間）

北海道地方：12 月 1 日～翌年 3 月 31 日※
東北地方　：12 月 1 日～翌年 3 月 20 日※
北陸地方　：12 月 1 日～翌年 3 月 20 日※

（※ 実施期間を延長する場合には，翌年 3 月中旬にお知らせする）

（２）予報期間延長について

（配信資料に関する技術情報（気象編）第 36 号関連）

18 時発表の分布予報の予報期間を 30 時間に延長する改善は，平成 11 年 6 月 1 日から実施しております。関連技術情報で既にお知らせしているとおり，降雪量分布予報についても今季からこの改善を実施します。

なお，利用にあたっては，発表電文を従前の 24 時間までの予報電文とそれ以降の延長分の予報電文（ヘッダーは前者の電文に同じ）の２つに分けて行いますでの，ご注意願います。